

道徳の時間学習指導案

坂町立横浜小学校

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 表現活動を通して、登場人物の心情を実感的にとらえさせることで、自分自身の問題として深く考え、ねらいとする道徳的価値に迫ることができる。



思考力・表現力の育成

- ◇学 年 第2学年
- ◇主題名 温かい心で [内容項目 2-(2) 親切]
- ◇本時のねらい 嵐のなかじっと考える小鳥の気持ちを考えることを通して、身近にいる人に温かい心で接し、相手の立場に立って進んで親切にしようとする心情を育てる。
- ◇資料名 『ぐみの木と小鳥』（出典：光村図書）
- ◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価〔観点〕 (評価方法)											
1 「ぐみの木」の写真を見て、資料の内容に興味をもつ。 2 「ぐみの木と小鳥」を読んで話し合う。 〔発問〕	◇ぐみの木や実を知らない児童にも理解できるように写真を用意し、資料への興味づけを行う。 ◇「小鳥の気持ちを考えながら聞きましょう。」と児童に投げかけ、紙芝居で資料提示を行う。												
○「りすさんがこのごろ姿を見せない」とぐみの木から聞いた小鳥は、どうしてりすの所へ行こうと考えたのでしょうか。	◇動くことができないぐみの木のために、友だちのりすの様子を見に行こうとする小鳥の気持ちを考えさせる。												
○なみだを目にいっぱい浮かべたりすを見て、小鳥はどんな気持ちだったでしょう。	◇少しでも元気になったりすの様子を見て、明日も来ようという前向きな気持ちに寄り添わせる。												
◎小鳥が、あらしの中、力をふり絞ってとび続けたのは、どんな気持ちからですか。													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">予想される児童の反応</th> <th style="width: 50%;">それに対する問い返し</th> </tr> <tr> <td>ア 行かなかったら、病気がひどくなるだろうな。</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 「すごい嵐だけど、どうして行くのか」「小鳥はりすのことだけ考えていたのか」問い返し、理由を語らせることで、自分自身の問題として深く考えさせ、ねらいとする価値に迫る。 </td> </tr> <tr> <td>イ 約束したから、待っているだろうな。</td> </tr> <tr> <td>ウ りすが元気になるために、行かなくては。</td> </tr> <tr> <td>エ ぐみの木も心配しているだろう。</td> </tr> <tr> <td>オ ぐみの木は歩けないから、ぼくが代わりに行かなくては。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">◇小鳥の気持ちを考えることを通して、親切にしてもらとうれしい、だから困っている人に親切にしたいという気持ちをもてることに気づけるようにする。</td> </tr> </table>	予想される児童の反応	それに対する問い返し	ア 行かなかったら、病気がひどくなるだろうな。	「すごい嵐だけど、どうして行くのか」「小鳥はりすのことだけ考えていたのか」問い返し、理由を語らせることで、自分自身の問題として深く考えさせ、ねらいとする価値に迫る。	イ 約束したから、待っているだろうな。	ウ りすが元気になるために、行かなくては。	エ ぐみの木も心配しているだろう。	オ ぐみの木は歩けないから、ぼくが代わりに行かなくては。		◇小鳥の気持ちを考えることを通して、親切にしてもらとうれしい、だから困っている人に親切にしたいという気持ちをもてることに気づけるようにする。			嵐の中、実をもっていくことの困難さに気づかせるため、嵐のBGMを活用し臨場感を出し、じっと考えている小鳥になりきって動作化をさせてみましょう。 ★りすの元へ行くことの大変さを感じ取らせることで、ねらいとする道徳的価値についてとらえることができます。
予想される児童の反応	それに対する問い返し												
ア 行かなかったら、病気がひどくなるだろうな。	「すごい嵐だけど、どうして行くのか」「小鳥はりすのことだけ考えていたのか」問い返し、理由を語らせることで、自分自身の問題として深く考えさせ、ねらいとする価値に迫る。												
イ 約束したから、待っているだろうな。													
ウ りすが元気になるために、行かなくては。													
エ ぐみの木も心配しているだろう。													
オ ぐみの木は歩けないから、ぼくが代わりに行かなくては。													
◇小鳥の気持ちを考えることを通して、親切にしてもらとうれしい、だから困っている人に親切にしたいという気持ちをもてることに気づけるようにする。													
○りすに「ありがとう。」と言われたとき、小鳥はどんな気持ちだったでしょう。	◇親切は、する方もされる方も「あたたかい気持ち」になることを気づかせる。	・親切について、自分とのかかわりでとらえることができたか。 [主人公の心情についての思考・表現] (発言・ワークシートへの記述)											
3 自分の経験を振り返る。													
○誰かに親切にしてあげたことや親切にしてもらって嬉しかったことはありますか。	◇「わたしたちの道徳 1・2 年生」P66. 67 を事前に取り組ませ、自分にできる親切につて考えさせておく。 ◇身の回りにある親切を具体的に挙げていくことで、自分たちの生活にも多くあることに気づかせる。												
4 教師の説話を聞く。	◇本時の学習を思い出しながら、親切な行動を写真などで紹介し、日常生活で実践する力へとつなげる。												